

2021年度 日本工学院専門学校											
マンガ・アニメーション科四年制											
デッサン1											
対象	2 年次	開講期	前期	区分	必修	種別	実習	時間数	45	単位	1
担当教員	伊藤 泰雅／中田 和彦			実務経験	有	職種	画家				
授業概要											
素描(デッサン)に於ける「ものの見方、表現方法」の基礎的な知識・技術を習得し、的確に描画できる実力を備えることを目的とする。											
到達目標											
1年次の基礎描写力を踏まえ、より癖なく、正しい素描の表現を出来るようになる。 3年次年のより本格的な課題へ向けて描写力を鍛え、知識・技術をより深く学ぶだけでなく完成度の高い作品を制作できるようになることを目標とする。											
授業方法											
人物・静物・風景のモチーフを中心に1年次より難易度を上げた課題で制作する。 導入では全体に向けて解説をし、制作中は個人指導を主体とする。 作品ごとに最後は講習会を全体で行うか、成績採点後の返却時に個別に指導をする。											
成績評価方法											
課題 授業大度	80％ 20％	課題の完成度、レベル、理解度を総合的に評価 作品制作への積極性を評価									
履修上の注意											
苦手意識があっても手を止めず描き続ける事が重要。授業時数の4分3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。											
教科書教材											
教員・卒業生の参考作品、各種モチーフ等											
回数	授業計画										
第1回	ティッシュ箱の形態、陰影、固有色、質感、レタリングを描けるようになる①										
第2回	ティッシュ箱の形態、陰影、固有色、質感、レタリングを描けるようになる②										
第3回	パース(遠近法)を理解した上での確に風景を描けるようになる①										
第4回	パース(遠近法)を理解した上での確に風景を描けるようになる②										
第5回	短時間で人体の全身を捉えられるようになる										
第6回	カボチャの形態、陰影、固有色、質感を描けるようになる①										

2021年度 日本工学院専門学校	
マンガ・アニメーション科四年制	
デッサン1	
第7回	カボチャの形態、陰影、固有色、質感を描けるようになる②
第8回	顔の部分描写を行いたく確実に描けるようになる
第9回	様々なアングルで顔を描けるようになる
第10回	頭部の骨格を理解し描けるようになる①
第11回	頭部の骨格を理解し描けるようになる②
第12回	これまでの頭部の描写を踏まえ友人の顔を的確に描けるようになる
第13回	ステンレスの工業製品と縞模様の布を的確に描けるようになる①
第14回	ステンレスの工業製品と縞模様の布を的確に描けるようになる②
第15回	以上の課題を踏まえ、補強を要する課題を制作し、実力を補完できるようになる